

学術年会開催にあたって

田端 健司 (学術年会長)

再生医療技術と組織工学の発展により、ヒト由来細胞(初代培養細胞、iPSC 由来細胞、患者由来細胞など)を3D培養、共培養などの特殊な方法や、ヒト臓器の環境を生体外(on chip)で再現する技術が実用化されております。創薬研究における未充足研究領域は明確であり、医薬品候補化合物の臨床予測性向上を目的に、再生医療技術を有効性・安全性・薬物動態評価に応用化することにあります。研究トレンドとしても世界経済フォーラムが公表するTop 10 Emerging Technologies 2016では「Organs-on-chips」が選出されるなど本分野への期待が高まっています。

このような背景から、第25回学術年会ではテーマを「人体模倣システムを用いた創薬研究基盤技術の新基軸」として、再生医療技術を創薬基盤研究につなげる話題に焦点を当てることといたしました。平成30年5月24、25、26日の3日間の予定で、茨城県つくば市にある産業技術総合研究所共用講堂にて開催することになります。

本年会ではヒトを模倣することをスコープとして、再生医療技術や組織工学に関する最先端の研究成果や利用例の紹介に加え、生体システムを数学的モデリング手法で模倣する定量的予測研究まで話題として取り上げました。本分野の最前線で活躍されている先生と共に、創薬研究基盤技術をいかに実用化につなげるかについて、皆様の活発な議論が交わされる機会にさせて頂ければと思います。

なお、3日目には一般市民を対象として子宮がん・卵巣がんについて公開シンポジウムを開催いたします。いずれも患者数が増加傾向にあるがんで、皆様の関心の高い疾患かと思っております。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。



産業技術総合研究所 つくばセンターつくば中央 共用講堂
(茨城県つくば市東 1-1-1)

・つくばエクスプレス「つくば駅」下車、バスターミナル4番のりばから関東鉄道バス「荒川沖駅(西口)行(並木経由)」、「筑波宇宙センター経由(学園南循環)」または「桜ニュータウン行」にご乗車、「並木二丁目」下車

・JR常磐線「荒川沖駅」下車、西口4番のりばから関東鉄道バス「筑波大学中央行」または「つくばセンター行(並木経由)」に乗り、「並木二丁目」下車

「並木二丁目」バス停から「産総研つくば中央」まで徒歩3分

<事前参加登録費>

(要旨集を含む)

HAB 研究機構正会員：8,000円(当日：10,000円)

賛助会員：8,000円(当日：10,000円)
(一口につき1名でそれ以上は非会員扱い)

非会員：13,000円(当日：15,000円)

学生：6,000円(当日：8,000円)

懇親会参加費：5,000円

事前参加申込期限：2018年4月27日

※指定の郵便振込用紙をHAB研究機構事務局まで
ご請求下さい。

<お問い合わせ・お申込み先>

特定非営利活動法人HAB研究機構

〒272-8513

千葉県市川市菅野5-11-13 市川総合病院角膜センター内

TEL 047-329-3563 FAX 047-329-3565

E-mail secretariat@hab.or.jp URL http://www.hab.or.jp

第25回HAB研究機構学術年会

人体模倣システムを用いた 創薬研究基盤技術の新基軸

First Circular



学術年会長：田端 健司
(アステラス製薬株式会社)

日時：2018年5月24日(木)～26日(土)

9:00～18:00

会場：産業技術総合研究所 つくばセンター 共用講堂

協賛： 日本薬物動態学会 日本薬理学会
日本臓器保存生物医学学会 日本再生医療学会
日本生物工学会 化学工学会バイオ部会
後援： 産業技術総合研究所 日本毒性学会
日本臨床薬理学会

予定

最新情報はホームページにて(<http://www.hab.or.jp>)
公開予定です。是非ご参照下さい。